

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	神埼市立神埼小学校
1 前年度 評価結果の概要	例年通りといった慣例にとらわれない校務体制・意識を持つことに努め、工夫した校内研修・ミニ研修の設定で、職員の間が同一方向に向かう学校体制が築かれてきたことが大きな成果であると考えている。この体制の継続を図りながら、教職員個々の指導の差を縮めていくことが重要と考える。また、教育活動について、児童の主体的な活動を推進し、教師が支援していく体制づくりを目指していく。
2 学校教育目標	『体を強く 心賢しく 学び合う せんだんの子』の育成 <健康や安全に気を付けた生活や行動ができる子ども> <生命あるものを大切に、思いやりの心をもつ子ども> <自ら学ぶ意欲をもち、人と関わりながら、学び合っていく子ども>
3 本年度の重点目標	① 落ちつきのある学習環境をつくり、学力の確かな定着と学習意欲の向上を図る。 ② 校内外において基本的な生活習慣を身につけさせ、健康で明るい生活態度を養う。 ③ 自己肯定感を高め、「自分を好きに」「人を好きに」「学校が好きに」「ふるさとを好きに」なる児童の育成を図る。 ④ 校務の効率化を図り、教員の質の向上を目指す。

4 重点取組内容・成果指標				中間評価	5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上 ○百ます計算で学年目標達成率80%以上	・教職員間でマイプランを共有し、毎月振り返りを行う。 ・週3回の陰山メソッドによるスキルタイムの実施							<ul style="list-style-type: none"> ・まなびづくり部 ・学力向上コーディネーター
	○「わかった」「できた」を実感できる授業づくりの推進	○「めあて」と「振り返り」を書くことができる児童90%以上 ○「授業で学習したことがわかる」と回答した児童80%以上 ○「自分の考えを書くことができる」「考えを伝え合うことができる」と回答した児童80%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3」を活用し「めあて」と「振り返り」が有機的に連動した授業づくりを推進し、毎月、校内研修等で取り組みを紹介 ・各教科等において、「書く活動」「話し合う活動」の場の設定							<ul style="list-style-type: none"> ・まなびづくり部 ・研究主任、副主任
	◎学びの目的意識をもった教育活動の推進	◎「自分の目標をもって学校や家での生活ができている」と回答した児童90%以上	・目的や課題意識を持たせた授業づくり ・総合的な学習の時間や学年行事など、地域との連携を推進							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳や人権に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童	・ふれあい道徳や人権に関する取り組みについて保護者や地域に情報発信する。 ・平和集会及び人権集会の実施							<ul style="list-style-type: none"> ・こころづくり部 ・人権・同和担当 ・道徳教育推進教員
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめや不登校など、子どものサインを見逃さず、子どもの心情に寄り添う指導を行っている」と回答した教職員90%以上	・毎月の「今の気持ちアンケート」の実施 ・年2回(5月期、10月期)の担任教員と児童個々の「お話し時間」の設定							<ul style="list-style-type: none"> ・こころづくり部 ・教育相談担当 ・教頭
	○規範意識の向上	○「神埼市四力条の誓い」を意識した教育指導をしていると回答する教職員90%以上	・「神埼市四力条の誓い」の学級掲示 ・「あいさつ」「返事」「そろえる」をキーワードとした基本習慣の徹底。							
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故及び校内事故を防止する。 ○自転車のヘルメット着用率95%以上 ○けが等による保健室来室者5%減	・月に1度ヘルメット着用、防犯ブザー所持の状況を調査し学校便り等で保護者への啓発を図る。 ・遊具での正しい遊び方、教室等での安全な過ごし方の継続指導							<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかづくり部 ・安全指導担当 ・教務
	○健康で強い体の育成	○「晴れた日は外で遊んでいる」と回答する児童85%以上 ○「熱中症、感染症などに気を付けている」と回答する児童90%以上	・週1回以上の「学級遊び」の設定。 ・けが予防、熱中症予防のため外遊びでの帽子の着用 ・適切な感染症対策(手洗い、マスク着用) ・保健だよりの発行							<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかづくり部 ・体力づくり担当 ・健康指導担当 ・養護教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間等の上限を遵守する。 ○全体の時間外勤務平均45時間以下	・パソコンを活用し、事前提案やペーパーレス会議を推進する。 ・見直しをもった行事、授業計画案によりタイムマネジメントを図る。 ・毎月の勤務時間状況のフィードバックによる業務の見直しの徹底							<ul style="list-style-type: none"> ・教頭 ・各部長
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○教職員の資質向上	○実践の共有、実践力の向上	○教職員の資質能力の向上に資する職員研修の実施	・若手教職員を中心としたミニ研修の実施 ・教職員研修における校内講師の推進 ・相互授業参観の実施							
○特別支援教育の視点に立つ学級づくり	○個の特性に応じた指導・支援の充実 ○個々が大切にされる学級風土の醸成	○毎月の子ども支援会議の実施 ○保護者アンケートにより「学校は一人一人の児童が大切にされる学級づくりに努めている」との回答90%以上	・子ども支援会議にて配慮を要する児童の状況について共通理解や組織対応を充実する。 ・学校便り、学級便り等の発行							<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談担当 ・特別支援教育コーディネーター
○ICT利活用	○教職員のICT利活用能力の向上	○「ICT機器を効果的に生かした授業ができる」と回答する教職員95%以上	・プログラミングに関する研修への参加奨励 ・ICTに関する研修会の実施							<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育担当 ・視聴覚教育担当

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
--------------------	--

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育